

第 3 学年 道徳科指導展開例

- 1 主題名 世界の中の自分
- 2 内容項目 C－国際理解、国際貢献（関連項目 D－生命の尊さ）
- 3 教材名 いのちの持ち物けんさ（2013 年「大学生×難民支援 学生アイディアコンペ」より）

4 ねらい（視点）

グローバル化が進んでいる現代でも、難民問題についての意識は決して高いとは言えない。実際、日本の難民の受け入れ状況は非常に悪く、2016 年度の難民認定者 10901 人に対し、認定者数はたった 28 人と、1%にも満たない状況である。生徒たちの印象でも「難民とはどんな人たちのことをさすか」という質問に正しく答えられた生徒はいなかった。このことから、学習に当たっては、国際社会の一員としての自覚をもたせ、より良い国際社会を築こうとする心情を育てることをねらいとする。

生徒の実態については、活発な生徒が多く、問いかけに真摯に応えることができる。2018 年 9 月 6 日に起こった胆振東部地震を経て、「普段当たり前に行っていることができなくなる」ということを体験し、生徒の中で水や電気等が「感謝すべきもの」とであるという認識が高まった。生徒の体験と難民の状況を重ね合わせることで難民問題に関心を持ち、より身近な問題として捉えるようにする。

本教材では、自分の生活を振り返りながら、学習を進める。また難民問題の実態を把握することで、難民問題の重大さ、深刻さに気付かせる。そして、同じ人間として何ができるか、どうあるべきかを考えるきっかけになると考える。

5 本時の展開

	発問と児童生徒の活動	評価・留意点
導 入	<p>昨日一日の様子を振り返り、グループで発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもと変わらない一日だった。 ・〇〇くんとは違って、こんな一日だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何気ない一日でも、他の人と全く違う一日であることを引き出す。
展 開	<p>プリント「いのちの持ち物けんさ」に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が今持っているものと自分を証明するものを、(赤) かけがえないもの、(青) 無くても困らないもの、(黄) どちらともいえないものに分類し、付箋に 1 つずつ書き出しプリントに貼る。 ・「いのち」と書いた付箋は、全員が (赤) に貼る。 ・グループ内で、プリントを見せ合い、共有する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>予想される持ち物 いのち 家族 ペット 友人 家 ライフライン 自転車 四肢 衣服 勉強道具 趣味の道具 家具 安心安全 など</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いのち」は赤色の付箋に、全員に書き出してもらおう。 ・他者の意見で共感できたものは、書き加えても良い。

<p>展 開</p>	<p>喪失の疑似体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、青色の付箋を裏面に移し、それらのものがなくなったらどう感じるかを想像して書き出す。 ・黄色でも同様に行う。 ・赤色は、「いのち」と書いた付箋だけ残して、裏面に移し、どう感じるかを想像して書き出す。 ・グループ内で、プリントを見せ合い、共有する。 <p>実際の難民の写真を見ながら、難民問題の現状を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問：難民の人々はどのような思いなのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・平和な世界で暮らしたい。 ・自分の命が失われることに対して不安である。 ・日本のような平和を知らないのではないか。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問：世界の平和に貢献するために、私たちができることについて考えてみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学級で交流して、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この後の「難民の現状と重ね合わせる」活動と関わってくるため、より具体的に想像させる。(〇〇ができない、〇〇に気を付けなくてはいけない、など) ・物理的な不便さ、精神的な不安など、どちらでもよい。 ・国連 UNHCR 協会ウェブサイトから引用できる。 ・国や職業にこだわらず、様々な視点からの意見でよい。 ・実現可能かどうか、問わない。
<p>終 末</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをワークシートに記入する。 	

6 評価

- ・難民問題に関心をもち、問題の重大さ、深刻さについて広い視野から多面的、多角的に考えている。
- ・世界の平和と人類の発展について、自分ごととして考えている。

『いのちの持ち物けんさ』

赤色

あなたにとって替わりのないもの

黄色

あなたにとって赤でも青でもないもの

青色

あなたにとって替わりのあるもの